



## ふるさと笠松の「ちょっといい話」83号



## 「トンボ天国の自然環境は町民の力で守る！」

7月13日(日)の早朝8時に、約150名の人々がトンボ天国に集まってくださいました。集まった方々は国土交通省、トンボ池を守る会、下羽栗地区町内会、道徳のまち笠松の関係者をはじめ、笠松中生徒、社会福祉協議会、NPO 団体、下羽栗小 PTA、地元企業、一般ボランティアなどの方々です。

トンボ天国の竹や雑草を伐採し、不法に投棄された粗大ゴミなどを回収する環境美化活動は、今年で3回目です。集まった方々は、草刈り機やのこぎり、ナタ、剪定ばさみなどの道具を持参し、トンボ天国の東と西に分かれて、作業を開始しました。時折雨が降るあいにくの天気ではありましたが、体を動かすと汗が噴き出しました。梅雨時なので、竹や雑草は人の背丈以上に伸びています。それらを伐採するために、9時までの1時間、休息もとらないで頑張ってくださいました。おかげで、トンボ天国は見違えるようにきれいになりました。背の高い竹や雑草がなくなったことで、下草が育つ環境となり、表土が池に流れ込むこともなくなると思われます。きっと、池のヤゴにはよい環境が整ったことでしょう。たくさんのトンボたちが飛びかうようになることを願っています。ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



梅雨空のもとでの 美化活動のはじめの式



↑ 国土交通省の佐久間様より竹等を伐採する意義の説明



↑ 山のように竹が積み上げられました。



↑ きれいになったね。町民の方々の力はたくましい。



↑ 無事に活動が終了後、葛谷会長よりねぎらいの挨拶